

# 公同礼拝

2022年7月17日(日) 午前10時30分

午後3時

司式 牧師 姜 匠米

前 奏

招 詞 詩 編 29編1b、2節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 61編2～5節 (旧894)

マタイによる福音書 9章18～26節

(新16)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 86 (1)

説 教「あなたの信仰があなたを救った」

牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 280 (1)

献 金

頌 栄 541

祝 禱

黙 禱

## 7月の祈り

父なる神、御子主イエス・キリスト、聖霊の三つであり、一つのお方の恵みによって、体と命を授かり、救いと赦しを与えられ、今この時に神と共に歩む勇気が与えられるように。

御言葉を糧として生かされ養われていることを覚え、人の言葉に惑わされず、神の言葉を求めることができるように。

世界が主の御心が平和であることを意識し、平和を求め歩み出すことができるように。

経済的、社会的に弱い立場の人々や子どもたちが守られるように。

## 今日の祈り

この世界に対する主なる神の真理の御言葉の宣教の使命を果たすことができるように。

夏休みを迎えた子どもたちが守られるように。

コロナ感染の再拡大の中で、礼拝と信仰の生活が守られ、力づけられるように。

体調を崩している人々、重荷と不安を負っている人々のために。

「あなたの信仰があなたを救った」 高橋和人  
マタイによる福音書 9:18～26

二人の女性が登場する。一人は愛されて成長したが、たった今死んだ少女。もう一人は十二年間患って出血が続いていた女であった。

少女はマルコによれば十二歳。二人の歩みは全く違っていた。主イエスの存在はこの二人に近づく。主イエスのもとに地位のある人物がそばに来てひれ伏す。ひれ伏すは礼拝と同語。彼は自分の娘がたった今死んだという。主が手を置けば生きかえるという。主は立ち上がる。

弟子たちも同行する。

そこへ十二年出血の続いている女が、後ろから主イエスの服の房に触れた。出血のある間は汚れたものとされ、人に触れることも人々の中に入れず、礼拝にも加われなかった。主は振り返り「元気になりなさい」という。これは勇気という言葉。「あなたの信仰があなたを救った」と言われたとき、彼女は治った。

既に葬儀は始まっていた。主は「少女は眠っている」と言われて群衆を外に出した。主は手を取り、少女は起き上がった。

マタイの報告は簡素だ。主イエスのところで二人の歩みが交わる。主イエスの出来事が二つの人生を結び付ける。父の信仰と、女の信仰どちらも切実だが勝手な願いだ。主イエスを求めたところに一致する。人の信仰は勝手に自分本位だ。しかし、主はそこに向き合い振り向き、手を伸ばされる。

その時、それまでの「わたしの信仰」は主イエスによってもたらされる「わたしの信仰」に変えられる。救いの恵みは主イエスによってもたらされる。主イエスとの出会いが、新たな「わたしの信仰」をもたらす。

新しい革袋に入る新しいぶどう酒という信仰である。女性は勇気をもって生き始め、少女は起き上がる。

主イエスの「立ち上がる」と少女の「起き上がる」同じ言葉で、10:8では「死者を生き返らせ」に使われている。復活である。主イエスが立ち上がったので、少女も立ち上がった。

主に触れたことが生涯のゆるぎない定点となった。そこに信仰がある。